

第 65 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第65回日本神経学会学術大会

大会長 戸田 達史

副大会長 横田 隆徳

開 催 概 要

1. 学術大会会期：2024年5月29日（水）～6月1日（土）
「アジアのハブとなる神経学」をテーマとし、上の日程で、第19回アジア・オセアニア神経学会議（19th Asian Oceanian Congress of Neurology (AOCN2024)）と合同開催致します。
2. 学術大会会場：東京国際フォーラム
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
3. 演題募集期間：2023年9月29日（金）正午～11月24日（金）正午
※募集期間の延長はありませんのでご注意ください。
※学生・研修医演題およびメディカルスタッフ演題も同時募集いたします。
演題登録に関する詳細は、決定次第、大会ウェブサイト「演題募集」に掲載いたします。
4. お問い合わせ
【大会長校事務局】
東京大学大学院医学系研究科神経内科学
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1
【日本神経学会事務局】
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階
TEL：03-3815-1080 FAX：03-3815-1931
jsn-secretariat@neurology-jp.org（学術大会担当）
【第65回学術大会運営事務局】
〒102-0075 東京都千代田区三番町2
株式会社コンベンションリンケージ
TEL: 03-3263-8688 FAX: 03-3263-8687

一般演題について

口演発表とポスター発表を予定しております。

1. 申し込み：申し込みはすべてオンラインにて受け付けます。
2. 演題募集期間：2023年9月29日（金）正午～11月24日（金）正午
※募集期間の延長はありませんので、ご注意ください。
3. 演題要旨作成時の注意
(1) 演題の制限：1演者につき1題とします。但し、共同演者になることは差し支えありません。1施設から多数の申し込みも歓迎いたします。

(2) ご登録いただく項目

◎登録・発表言語：日本語もしくは英語（応募カテゴリーによる言語指定あり）

※基本は、抄録の登録言語が発表言語となるようにセッションを組む予定ですが、内容によっては、抄録が英語でも日本語発表を、あるいは抄録が日本語でも英語発表をお願いする場合があります。ご了承ください。

◎発表形式区分：口演もしくはポスター

◎筆頭演者と共同演者の氏名（日英）：演者数は20名以内

◎筆頭演者と共同演者の所属機関（日英）：所属機関数は10機関以内

◎演題名（日英）：日本語は全角40文字以内、英語は半角100文字以内（スペース含む）

◎抄録：

- ・抄録は、日本語または英語でご登録ください。（応募カテゴリーによって言語指定あり）
- ・日本語は全角800文字以内、英語は半角1,600文字以内とします。（スペース含む）
- ・【目的】【方法】【結果】【結論】に分けて簡潔に記入してください。その都度改行はしないでください。改行を行っても、抄録印刷の際に反映されません。
- ・抄録内容が不完全な場合（誤字、脱字、具体的な数値の不足、【目的】【方法】【結果】【結論】に項目立てされていないなど）、不採用になりますので抄録作成の際に細心の注意を払ってご投稿ください。

(3) 筆頭演者は本学会の正会員である必要があり、登録時に会員番号およびパスワードを入力していただきます。未入会者は、必ず日本神経学会 HP「入会に際して」をご確認の上、「入会までの手順」に従って、演題登録締切の1週間前までに、入会手続き（入会申請、年会費の支払い）をお済ませください。入会手続きには1週間～2週間かかる場合がございますので、余裕を持ってお手続きしてください。演題登録締切の1週間前（2023年11月17日（金））までにご入会手続きが完了していない場合は、ご登録いただいた演題を不採択とさせていただきますので、ご了承ください。

日本神経学会事務局 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階

TEL：03-3815-1080 FAX:03-3815-1931

（受付時間：平日10:00～17:00）

(4) 応募演題は厚生労働省等による各種関連法令・指針・通知（薬機法、再生医療法、臨床研究法、生命科学・医学系研究指針など）及び所属施設が定めた倫理規定（動物実験等を含む）を遵守すると共に、あらかじめ所属施設等において倫理審査委員会等による審査・承認を得ていることが必要です。詳細は学会ウェブサイトにある「日本神経学会学術大会時の演題の倫理面について」(https://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai_rinri.pdf) をご覧ください。承認の得られていない研究についての演題は、応募することができません。ただし、9症例以下で、且つ、比較検討や統計解析（仮説検定）を加えない症例報告の場合は必ずしも倫理審査委員会の承認を得る必要はありません。（9症例以下であっても、比較検討や統計解析を加える場合は観察研究となるので、倫理審査委員会の承認を得る必要があります。）「症例報告」の定義については[学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針 \(jmsf.or.jp\)](#) をご参照ください。

※「比較検討」とは一般に、

- － 研究対象者を2つ以上のグループに分けて群間差を比較し、統計学的検定を行うもの
 - － 研究対象者集団の経時データ（例えば、治療前 vs 治療後）を比較し、統計学的検定を行うもの
- のことを指しており、このような解析は症例報告の範囲を超えた臨床研究とみなされます。臨床研究か症例報告か判断に迷う場合は、原則として、発表者が所属する施設の倫理委員会にお問い合わせください。

(5) 応募演題は、演題を登録した時点において、未発表のものに限ります。他学会で既に発表済みの演題でも、論文発表されていなければ応募可能です（同一抄録は不可。タイトルの変更や症例の追加などで少し内容を発展させてあれば可）。

海外で発表した演題の「アンコール発表」に関しては、下記「アンコール発表について」をご確認ください。

(6) 演題の査読を行いますので、抄録本文の中で筆頭演者の所属機関名、及び所属機関が明らかになるような記述や、筆頭演者や共著者が明らかになるような記述（謝辞を含む）は避けてください。

- (7) 薬品名を記載する場合は、必ず一般名を記載してください。薬品の商品名は、使用禁止とします。
- (8) 未承認薬を使用した研究に関しては、本文中で薬品が未承認であることがわかるよう、記載してください。
- (9) 薬品以外の商品名（HAL® など）を使用する場合には、必ず登録商標やトレードマークを表示方法に従って付記してください。ただし、登録商標やトレードマークは初出のみ付記し、繰り返しは不要です。
- (10) 症例数や実験に用いた動物の数などは、演題登録時点で実際に行った数値を記載してください。数値の記載がない場合、不採択とさせていただきますので、ご了承ください。
- (11) 一例報告については原則認めません。但し、症候学的、学術的な面などから深く検討されているのであれば、審議の上、採択することがあります。
- (12) 患者の個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、個人が特定できないよう十分留意して発表してください。日付は臨床経過を知るうえで必要となることが多いので、個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載して良いこととします。
- (13) 演題登録締め切り後、査読委員が査読を行い、採否を決定します。応募演題の内容によっては、採択されない場合もありますが、ご了承ください。
- (14) 英文抄録は登録者が英語を母国語としない場合、原則としてネイティブスピーカーチェックを受けてから提出してください。英文が不完全であるために不採択とさせていただきますので、ご了承ください。
- (15) 第 65 回日本神経学会学術大会 最優秀演題賞を設けますので、応募希望の方は抄録登録時にご申請ください。応募資格は、登録時、学部卒業後 15 年未満とします。尚、最優秀演題賞への応募演題に関しては、英語での登録を推奨します。表彰式は、5 月 29 日（水）の全員懇親会で行います。
- (16) 演題登録締め切り後の登録内容の修正は一切承りませんので、注意深く抄録をご準備ください。抄録が採択された場合、事務局からの修正依頼もございません。また、学術大会終了後の修正も承りませんのでご了承ください。ご発表いただいた抄録（発表条件を満たした抄録）は、学術大会後に「臨床神経学サプリメント号」（オンライン）に掲載されます。掲載ページには「臨床神経学 64 巻サプリメント号 S-〇〇」という頁数が付与されます。
尚、「臨床神経学」の投稿規程に基づき、掲載論文の複写、および転載等の二次的使用に関する許可の権限は日本神経学会に所属いたします。またこれによる使用料は日本神経学会に帰属するものとします。
一般演題で応募された先生の中から、海外からの演者との企画シンポジウムに採択させていただく場合がございます。その場合、日本語でご登録いただいた場合でも、英語での発表形式を委員会からお願いすることがございますので、ご了承ください。

4. アンコール演題

第 65 回日本神経学会学術大会では、以下の条件を満たす場合のみ、アンコール演題の登録を認めます。

- ・本学会演題登録時から遡って 1 年以内に海外学会で発表した演題に限る（国内学会は不可）。
- ・発表内容は、最初の発表のデータや解釈を忠実に反映させる。
- ・著作権が生じている場合は、発表者自身が承諾を得る。

【登録方法に関して】

- ◆演題登録時に演題名の最初に E# を追記し、必ずアンコール発表であることが分かるようにしてください。
- ◆演題登録時の確認メールがお手元に届きましたらすぐに、件名末尾に「(アンコール演題)」と追記し、返信メールにて登録演題がアンコール演題であること、また同演題のこれまでの発表履歴を、必ず学会事務局演題係 jsn-abs@gol.com 宛に 11 月 24 日（金）正午までにお知らせください。締め切りに間に合わない場合は査読ができませんのでご注意ください。

5. 利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、すべての発表者に「利益相反（Conflict of Interest, COI と

略す)」の開示を求めることになっております。

演題登録画面の「利益相反の有無」の入力欄にて「ある」「ない」をご選択ください。「ある」の場合、演題登録後に日本神経学会ホームページの「倫理および利益相反に関する規程等」項目にある「別紙様式 3-1」をダウンロードしていただき、ご記入の上、以下の学会事務局担当者までメール添付もしくは郵送にて送付してください。

COI 提出締切：2023 年 12 月 7 日（木）必着

COI 自己申告書送付先 第 65 回大会 COI 受付係
〒 113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2 階
TEL：03-3815-1080
E-mail：jsn-abs@gol.com

尚、利益相反について、専門的な内容に関するご質問は上の学会事務局までお問合せください。

6. 採否通知

演題登録完了通知メールに記載されている、7ケタの登録番号をもって、2024 年 2 月中旬頃より大会ウェブサイトの採択演題一覧ページにて公開いたします。個別にメールでの発表日時等の通知はいたしませんので、必ず当サイトをご確認ください。発表形式も同時に掲載いたします。発表日の希望ならびに、決定後の発表日時変更は承りません。筆頭演者ご自身が日程調整の上、ご発表いただきますようお願いいたします。

7. 口演による発表方法

- (1) PC プロジェクターが使用可能です。スクリーンの縦横比は 16:9 です。
- (2) ビデオプロジェクターの使用はできませんが、PC からの動画投影は可能です。
- (3) 発表データはメディア（USB メモリーまたは CD-R）での持ち込みとなります。但し動画がある場合にはご自身の PC をご持参ください。
- (4) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (5) 発表資料の中に営利目的の企業や製品のロゴを入れないでください。
- (6) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時に利益相反開示についてのスライドをご提示いただきます。詳しくは日本神経学会ホームページの「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (7) 学術大会国際化のため、口演スライドはできるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいての口演スライドは必ず英語で作成してください。
- (8) 一般演題の口演発表時間は、一人当たり発表 10 分＋質疑応答 5 分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合がございますのでご了承ください）

8. ポスター形式による発表方法

- (1) ポスターパネルは縦 210 cm × 横 90 cm の予定です。パネル上部の演題番号のみ、学術大会運営事務局で用意いたします。演題名・氏名・所属は各自で 20 cm × 70 cm 枠に横書きしてください。
- (2) ポスターは、要旨・目的・方法・結果・考察の順に大きくわかりやすく書いてください。文章は 2～3 m 離れたところからでも見えるような大きなポイント文字を使い、図式は一辺が 20 cm 以上の大きさとタイトル・簡単な説明をつけてください。
- (3) パネル自体に直接文字や図表を書いたり、パネルに糊づけしたりはできません。
- (4) ポスターをパネルに貼りつけるための画鋏は、会場に用意いたします。
- (5) ポスター発表のスケジュール等は、演題採用通知発表後にご案内させていただきます。
- (6) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (7) 発表資料の中に営利目的の企業や製品のロゴを入れないでください。
- (8) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時には利益相反開示についての内容を記載してください。詳しくは日本神経学会のホームページ「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (9) 学術大会国際化のため、できるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいてのポスターは必ず英語で作成してください。
- (10) 一般演題のポスター発表時間は、一人当たり発表 5 分＋質疑応答 2 分、総合討論 30 分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合がございますのでご了承ください）

9. 日本神経学会 学術大会運営委員 (50音順・敬称略)
- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 宇川 義一 | 小野寺 理 | 勝野 雅央 | 桑原 聡 | 佐藤 晶 | 高橋 良輔 |
| 戸田 達史 | 西山 和利 | 服部 信孝 | 望月 秀樹 | | |
10. 第65回日本神経学会学術大会 年次学術大会学術委員 (50音順・敬称略)
- | | | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 饗場 郁子 | 青木 正志 | 安藤 哲朗 | 石浦 浩之 | 石川 欽也 | 和泉 唯信 |
| 磯部 紀子 | 市川 忠 | 伊東 秀文 | 伊藤 義彰 | 井上 治久 | 岩田 淳 |
| 宇川 義一 | 大野 欽司 | 岡澤 均 | 岡野 栄之 | 奥野 龍禎 | 小坂 仁 |
| 小野寺 理 | 海田 賢一 | 狩野 修 | 北川 一夫 | 木村 和美 | 桑原 聡 |
| 古和 久朋 | 古和 久典 | 齐木 臣二 | 齊藤 祐子 | 佐藤 克也 | 柴田 護 |
| 杉江 和馬 | 鈴木 圭輔 | 関口 兼司 | 関島 良樹 | 高嶋 博 | 高橋 祐二 |
| 高橋 良輔 | 立花 直子 | 寺尾 安生 | 徳田 隆彦 | 戸田 達史 | 富山 誠彦 |
| 中嶋 秀人 | 中森 雅之 | 中山 東城 | 西川 典子 | 西野 一三 | 長谷川隆文 |
| 服部 憲明 | 花川 隆 | 花島 律子 | 濱田 雅 | 樋口 真人 | 平野 照之 |
| 星野 恭子 | 前田 哲也 | 松原 悦朗 | 松本 理器 | 村井 弘之 | 矢部 一郎 |
| 山中 宏二 | 山野 嘉久 | 横田 隆徳 | 吉田 眞理 | 渡辺 宏久 | |
| 佐竹 渉 (事務局長) | | | | | |
11. 学術大会教育プログラムワーキンググループ (50音順・敬称略)
- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 青木 正志 | 池田 佳生 | 磯部 紀子 | 大八木保政 | 尾方 克久 | 奥野 龍禎 |
| 小野賢二郎 | 勝野 雅央 | 金井 数明 | 北川 一夫 | 小池 春樹 | 古和 久典 |
| 佐竹 渉 | 神 一敬 | 鈴木 正彦 | 高嶋 博 | 中原 仁 | 前田 哲也 |
| 望月 秀樹 | 横田 隆徳 | | | | |

各種企画のお知らせ

☑…英語セッション

1. 大会長講演 (5月30日(木)午後 予定)
戸田 達史 (東京大学大学院医学系研究科神経内科学)
2. 副大会長講演 (5月31日(金)午後 予定)
横田 隆徳 (東京医科歯科大学大学院 医歯薬総合研究科 脳神経内科)
3. Plenary Lecture 01 (5月30日(木)午前 予定) ☑
Kevin Campbell (The University of Iowa)
Plenary Lecture 02 (5月30日(木)午後 予定) ☑
Hj Hamidon Basri (AOAN President, Universiti Putra Malaysia)
Plenary Lecture 03 (5月31日(金)午後 予定)
中村 祐輔 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)
4. 2023年度学会賞受賞者招待講演 (5月30日(木)午後 予定)
5. Neuroscience Frontier Symposium /ホットトピックス/シンポジウム/新ガイドライン等 (予定)
【Neuroscience Frontier Symposium】
5月29日(水)午後
・ Exploring Early Clinical Development through Innovative Drug Modalities ☑
5月30日(木)午後
・ Progress in research on Parkinson's pathogenesis ☑

5月31日(金)午前

- ・ Co-evolution of imaging and fluid biomarkers toward stratification of neurological disorders [E]

5月31日(金)午後

- ・ A new era of cell and gene therapy for neurological diseases [E]

6月1日(土)午前

- ・ Beyond prionoid propagation -the toxicity mechanisms from inside and outside of cells- [E]

【ホットトピックス】

5月29日(水)午前

- ・ バイオインフォマティクスで切り開く MS, NMOSD の病態解明
- ・ Disease modifying treatment and promising biomarkers in primary tauopathies [E]

5月30日(木)午前

- ・ Emerging new treatments for epilepsy 2024 [E]

5月31日(金)午前

- ・ Understanding and intervening cerebellar ataxias [E]

5月31日(金)午後

- ・ Delineating migraine as a multi-faceted neurological disorder [E]

6月1日(土)午前

- ・ New insights into ALS: genes, proteins, and pathways [E]
- ・ パーキンソン病研究の最前線 - prodromal stage -

【シンポジウム】

5月29日(水)午前

- ・ 前頭側頭葉変性症 update 2024
- ・ Elucidation of the role of macrophage/microglia in neurodegenerative disorders [E]
- ・ 脳神経内科で遭遇するコモンな睡眠関連疾患の対応
- ・ Neuromuscular junction diseases — from molecular mechanisms to biologics — [E]

5月29日(水)午後

- ・ ここまで治せる不随意運動
- ・ 動的・分子・疫学神経病理の脳神経学会への貢献
- ・ Dementia practice and research in DMT era [E]
- ・ Oculopharyngodistal myopathy in Asian and Oceanian region [E]
- ・ 着床前～周産期医療と脳神経内科：如何に我々はあるべきか？
- ・ 脳死判定・臓器移植における脳神経内科医の役割

5月30日(木)午前

- ・ Disseminating New Knowledge from Asia & Oceania [E]
- ・ 脳梗塞へのブレインハートチーム診療最前線
- ・ 脊髄症の診断と治療 Up to Date
- ・ 孤発性神経疾患のゲノム解明と医療応用
- ・ Treatment of Parkinson's disease in the era of 100 years of life [E]
- ・ How to become a successful female academic neurologist [E]
- ・ 日本集中治療医学会共同シンポジウム 急性期神経疾患の終末期医療・緩和ケアの進むべき道
- ・ 小児-成人移行医療：地域・病院の実情に応じた取り組み
- ・ Current epidemiology of immune-mediated neuropathies [E]

5月30日(木)午後

- ・ 病態蛋白に焦点を当てた神経変性疾患の診断・治療へのアプローチ -Up to Date-
- ・ 神経再生による神経疾患治療へのチャレンジ
- ・ ドラッグリポジショニングによる医師主導治験—その経験と今後の課題
- ・ Historical and More Common Nongenetic Movement Disorders From Asia [E]
- ・ Functional Neurological Disorders
- ・ 神経内科医に知ってほしい, チック・トゥレット症治療最前線
- ・ 21世紀における脳神経内科と精神科の関係を考える その2
- ・ Myology's cutting edge: from fundamental research to applications [E]

5月31日(金)午前

- ・急性期再灌流法のこれから
- ・ここまでわかったニューロパチーの遺伝的原因
- ・Hyperkinetic movement disorders: update [E]
- ・認知症のリスク因子としての「難聴」を取り巻くエビデンスと今後の施策
- ・真の多職種連携—難病支援学術コンソーシアムの役割を考える
- ・神経可塑性研究から導かれる神経疾患診断・治療の新戦略
- ・Best clinical practice algorithm for successful management of neuroinfectious diseases and autoimmune encephalitis [E]

5月31日(金)午後

- ・神経筋疾患の病態を捉える新たなモダリティー
- ・脳神経内科医が推進する日本の医療・研究開発施策
- ・Development of treatments for hereditary muscle diseases that Japan is leading [E]
- ・IgG4 autoimmune diseases に対する病態解明・画期的治療開発 - 分野・領域の垣根を越えて -
- ・脳神経内科疾患の摂食嚥下障害に対する最新の評価・治療
- ・Neurovascular Unit as a Novel Therapeutic Target of Neurological Diseases [E]

6月1日(土)午前

- ・適正な認知症バイオマーカー診断を実現するために
- ・Nobel Prize research put into practical use one after another! The cutting edge of ATTR amyloidosis treatment [E]
- ・Early diagnosis of neuroimmunological disease associated progressive multifocal leukoencephalopathy [E]
- ・神経疾患の機能回復を目指す最先端運動療法
- ・脳神経内科 X DE&I~ これまでとこれから ~
- ・Hereditary movement disorders first described in Asia [E]

【歴史セッション】

5月31日(金)午後

- ・こんなにも面白い神経学の歴史

【新ガイドライン】

5月31日(金)午前

- ・「多発性硬化症・視神経脊髄炎スペクトラム障害診療ガイドライン 2023」のポイントと活用の仕方

6月1日(土)午前

- ・CIDP・MMN 診療ガイドライン 2024：最新エビデンスと実践診療

6. レクチャーマラソン／教育コース／ International Education Course (予定)

【レクチャーマラソン】

5月29日(水)午後

- ・CIDP/MMN up-to-date 2024
- ・自己免疫性脳炎 2024

5月30日(木)午前

- ・MS・NMOSD 治療の最新潮流
- ・不随意運動の診察・診断と治療

5月30日(木)午後

- ・妊娠・出産と神経疾患
- ・頭痛診療の最新情報

5月31日(金)午前

- ・遺伝性神経筋疾患 overview
- ・高次脳機能障害の診かた

5月31日(金)午後

- ・Long COVID up-to-date
- ・めまい診療のコツ

6月1日(土) 午前

- ・脳梗塞急性期治療の最前線
- ・運動失調の診かた

【教育コース(一般)】

5月29日(水) 午前

- ・臨床遺伝の基礎一家系図を書け, 遺伝学的検査の結果を解釈できるようになる!—
- ・脳表へモジデリン沈着症の最新知見
- ・質問歓迎! エキスパートに聞こう, てんかん診療の極意

5月29日(水) 午後

- ・アクセプトされる論文の書き方
- ・120分でゼンプ分かる! 最新の脳卒中診療

5月30日(木) 午前

- ・脳神経内科医が知っておくべき臨床薬理学の視点
- ・今さら聞けない! 脳神経内科医のための睡眠医学ことはじめ
- ・Interactive Neurological Clinico-Pathological Conference (CPC)

5月30日(木) 午後

- ・君にも出来る! 脳血栓回収療法ハンズオン
- ・神経心理学的臨床推論: 神経心理を診断・治療に役立てる

5月31日(金) 午前

- ・臨床診断基準を満たした例の神経病理像の多様性
- ・もう怯まない! 小児期発症神経系疾患の成人移行を上手く引き受ける要諦

5月31日(金) 午後

- ・脳神経内科領域における臨床遺伝学 x 母性内科学~育児希望のある神経疾患患者にどのように対応するか
- ・基礎研究は楽しいよ! 脳神経内科医のベンチワーク入門
- ・critical careの脳波のABC: 特徴, 判読のケーススタディー

6月1日(土) 午前

- ・症例を極める
- ・脳神経内科疾患の摂食嚥下・栄養障害の病態と対策(疾患別特徴を学ぶ)

6月1日(土) 午後

- ・神経疾患の病状説明~どのようにわかりやすく, 説得力を持って話すか~
- ・パーキンソン病のデバイス療法 update 対象は? 方法は?

【教育コース(学生・研修医向け)】

5月29日(水) 午後

- ・脳神経内科と他科の関わり - 脳神経内科医に必要な他科の知識, 他科医に必要な脳神経内科の知識 -

5月30日(木) 午後

- ・筋電図塾 in 東京

5月31日(金) 午前

- ・これくらいは知っておこう, 脳卒中リハビリテーションのミニマム知識

6月1日(土) 午前

- ・ディベートで深める頭痛の病態生理

6月1日(土) 午後

- ・学生・初期研修医のための「症候・病態」から学ぶ実践的臨床神経学

【International Education Course】

5月29日(水) 午後

- ・Glamping with PD experts across the world

5月30日(木) 午後

- ・JNNP: Improving Outcomes in Patients with Neurological Disorders

5月31日(金) 午後

- ・Educational session dementia

7. メディカルスタッフポスターセッション (5月31日(金)・6月1日(土) 予定)
8. 学生・初期研修医セッション (6月1日(土) 予定)
9. 各種共催セミナー
10. 日本神経学会主催セミナー
 - ・第21回生涯教育セミナー「レクチャー」(5月29日(水)午前・6月1日(土)午後 予定)
 - ・第21回生涯教育セミナー「Hands-on」(5月29日(水)午前・6月1日(土)午後 予定)
 - ・第23回専門医育成セミナー (5月29日(水)午前・午後 予定)
 - ・第11回メディカルスタッフ教育セミナー (6月1日(土)午後 予定)